

大地の恵と海の幸 持続可能なまちへ



町長

濱 舘 豊 光

新年あけましておめでとうござい
ます。

町民の皆様には、初春を清々しい
気持ちでお迎えのこととお慶び申し
上げます。また、平素から町政の推
進に対し温かいご支援を賜り、深く
感謝申し上げます。

長期間に及んだ新型コロナウイルス
感染症による苦難も収束の兆しを
見せており、当町においても、本年
度予定のワクチン集団接種を旧年中
に終了することが出来ました。今後、
町内の経済活動がより活発になるこ
とを期待しております。

■健康・福祉の拠点「湯らばーく」

令和3年度から整備を進めてまい

りました総合福祉健康センター「湯
らばーく」は、建設資材の調達遅延
などによる工期延長により、予定ど
おりのオープンが叶いませんでした。
完成を心待ちにしておられた町民の
皆様も多かったことと思います。年
末には工事が滞りなく完了し、令和
6年2月6日にオープンを迎える運
びとなりました。

当施設は、温泉施設が内湯、露天
風呂、サウナを完備し、また、介助
が必要な方や子育て世代が安心して
利用できる家族風呂も備えています。
また、フレイル予防を目的としたト
レーニングジムも午後5時から午後
8時まで一般町民の皆様にもご利用
いただけるようにしており、レスト
ラン、販売所も備えていることから、
終日楽しめる施設となっております。
また、町社会福祉協議会、シルバ
ー人材センター、包括支援センター
も移転することとなり、町の健康と
福祉の拠点になるものと期待してお
ります。

昨年65歳以上の全町民に配布いた
しましたいきいきパスポートの提示
により入浴料金も半額の200円でご利
用いただけます。

また、町が運行する地域拠点連絡

バス及び武田・中里地区循環バスの
路線見直しをはかり、公共交通で町
全体をカバーすることができました。
運転免許証を返納した方でも不便に
ならないよう運行しているものです。
大いに活用くださるようお願いしま
す。

■新たな英語教育を開始

2030年問題を始めとして、私
達の未来には多くの課題が存在して
います。地球的な規模で対策が求め
られる環境問題はもとより、日本の
地方が等しく抱えている少子化によ
る人口減少問題、急激に進む高齢化
と相まって進む労働力不足問題など、
数え上げればキリがないほどです。

いずれの課題も、対策のために許さ
れる時間的猶予は短く、困難なもの
となつていくのも事実です。これら
の課題を解決するため、20年後に町
で生きて行く子どもたちに対する贈
り物として、英語教育を基本とした
国際理解教育を始めます。新興国を
中心に増え続ける世界人口は、20
50年には100億人を超えると予測さ
れている中、先進国では年率1%程
度で人口減少が進むと言われている
です。

そのような状況下で、農水産業を
中心とする地域産業を、グローバル
化した世界環境の中で持続・発展さ
せるために必要なグローバル人材を
育て上げることを目標として、メタ
バースを活用した英語教育に取り組
みます。薄市小学校をパイロット校
として通年実施し、最終的には町内
全学校で提供すべく準備を進めてま
いります。

■持続可能なまちづくりへ

町や地域には、たくさんの解決す
べき課題がありますが、常に変わり
ゆく社会の流れや国の動向も注視し
ながら、情報を正しく分析し、適時
適確に対応してまいります。

当町の基幹産業である一次産業
「大地の恵と海の幸」でしっかり食
べていける持続可能なまち、町民の
皆様が安心して楽しく暮らせるまち
をめざして、これからも日々の公務
に取り組んで参りますので、今後と
も町政運営に対しましてご理解とご
協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご
多幸を心からお祈りし、新年のごあ
いさつといたします。

議会活性化と 豊かな農漁業の推進



川山 光則

町議会議長

■議会活性化の推進

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。
町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
また、日頃より町議会に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深くお礼申し上げます。
昨年は、1月から新たな13人の議員で本町議会をスタートいたしました。町民の皆様の負託に応えられま

すよう、議員一同、その職責を果たしていく所存でございます。

■農漁業を守り豊かな生活を

きまして、これからの持続可能な町政発展に向け、議会の更なる活性化を目的に、中泊町議会基本条例の策定や、議会の活性化に必要な調査研究をするため、議会活性化特別委員会を設置いたしました。地方分権の進展に伴い、地方議会の果たす役割は重要性を増しております。本町議会も今後より一層、議会活動の充実、強化を図ってまいります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症もやや落ち着き、第5類感染症に移行されました。こういった中、国内外の景気も回復しつつあります。しかしながら、中泊町内に目を向けますと、基幹産業であります米の収穫は平年と比較して豊作だったものの、一等米比率が少なく価格面で減収になりました。さらに、小泊・下前地区では、スルメイカ・ウスメバルが大変な不漁で、特にイカは、ここ数年の不漁で経営にダメージを受けております。漁業者一丸となつて何回となく会議を開き、将来のためにと賛成した日本海北区域の洋上風力発電は反対を受け進まず、昨年決まりかけた小泊漁港区域洋上風力発

電も、捗々しくありません。地域経済の要である農漁業を守っていくためにも、みなで団結し、なんとしても乗り切りたいものです。

また、今年2月には、待ちに待った中泊町総合福祉健康センター「湯らばーく」が、完成しオープンする予定です。温泉を活用し、町民の皆様福祉の向上と健康の増進、そして交流を通じた活力ある地域づくりに資することを大いに期待するものであります。

今は、昨年から、長い間のコロナ禍による活動自粛も規制緩和され、県内各地で様々な催し物が解禁されています。中泊町においても、いよいよ活気にあふれ、町民の皆様、お一人お一人が躍動し、笑顔あふれた暮らしができることを切に願うものであります。

本年も皆様方のご意見、ご指導を賜り、信頼され、より身近な議会、関心を高める議会活動を、そして更なる町政の発展を目指し努力してまいります。

結びに新しい年が町民の皆様にとりまして、豊かで実り多い年となりますよう、議員一同心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

中泊町副町長 横野 彰 吾

中泊町代表監査委員 外崎 良 造

中泊町教育委員会教育長 鈴木 信 也

中泊町農業委員会会長 松坂 龍 美

中泊町選挙管理委員会委員長 山本 孝 男

中泊町消防団団長 成澤 清 志